

《日商簿記2級》 —工業簿記—

5. 材料費計算②

～材料費の計算方法について～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



材料費の計算方法

～材料費の計算方法～

消費単価の計算方法と消費数量の計算方法

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



材料費の計算方法



- 材料の消費額（材料費）は、消費する材料の単価である（ ）に消費する材料の数量である（ ）をかけて計算する。

$$\text{材料費} = \text{消費単価} \times \text{消費数量}$$

《消費単価の計算》

- 消費単価は、材料の購入原価をもとに決めていくが、同じ材料を購入したとしても、それが複数回に渡る場合、時期などによって単価が異なることがある。
- そのため、事前に消費単価を計算するための方法を決めておく必要があるが、その方法には（ ）・（ ）・（ ）がある。

<参考動画>

- 先入先出法と移動平均法は3級の「商品有高帳」の項目で学習した、商品の払出単価の決定方法と同じです。今回は「移動平均法」には触れないのでよかったら確認して下さい😊

商品有高帳

- そのため、事前に「払出単価」を計算するための方法を決めておく必要がある。その方法にはいくつかの方法があるが、3級では下記の2つの方法を学ぶ。
- 《払出単価の決定方法》
 - （先入先出法）…先に仕入れた商品から先に払出す方法
 - （移動平均法）…商品を仕入れるごとに平均単価を計算する方法

		受入			払出			残高		
日付	摘要	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
12/10	仕入	30	100	3,000				30	100	3,000
15	仕入	20	110	2,200						
20	売上				15	?				~省略~

材料費の計算方法



$$\text{材料費} = \text{消費単価} \times \text{消費数量}$$

《消費数量の計算》

・消費数量の計算方法には、下記の2つの方法がある。

【原則】

() … 材料の購入・払出(消費)を行う都度、帳簿に記録する方法
また、帳簿棚卸数量と実地棚卸数量の差額で()を把握することができる。これが、正常な範囲内で発生した場合は、製造原価(間接経費)として()勘定へ振替える。

- ・事務手続き上、手間がかかる
- ・正確な消費量を把握できないため、原価管理に適している
- ・重要性が高い主要材料費等はこの方法を用いる

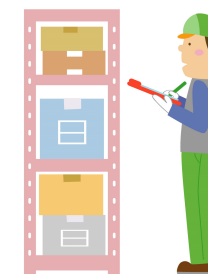
【簡便的な方法】

() … 材料の購入のみ帳簿に記録していき、月末の実地棚卸数量をもとに、(差額で)消費数量を計算する方法
払出(消費)の記録は行わない。

- ・事務手続き上、手間がかからない
- ・正確な消費量を把握できない
- ・補助材料費等はこの方法を用いる

○用語○

- () … 帳簿上で記録している数量(在庫数)
- () … 実際に数えた数量(在庫数)
- () … 帳簿上の数量と実地棚卸を行った数量の差(紛失や盗難等による保管中の減少)
「材料」として消費しているわけではないため、「経費(間接経費)」に分類される



材料費の計算方法

—問題解説— ～材料費の計算～

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



材料費の計算方法

問題

次の取引の仕訳および材料勘定への転記を行いなさい。

なお、消費単価の計算については、素材は先入先出法、補助材料は総平均法で計算し、消費数量の計算については、素材は継続記録法、補助材料は棚卸計算法で行うこと。

- ◎ 5月 1日 前月繰越 素材10kg @100円
補助材料2コ @20円
- 1. 5月 5日 素材50kg (@80円)を掛けて仕入れた。
- 2. 5月10日 補助材料8コ (@25円)を掛けて仕入れた。
- 3. 5月15日 素材30kgを製造指図書No.1のために出庫した。
- 4. 5月20日 素材10kgを間接材料費として出庫した。
- 5. 5月31日 素材の帳簿棚卸数量は20kgで月末実地棚卸数量は15kgだった。この差は正常な範囲内のものである。
- 6. 5月31日 補助材料の月末実地棚卸数量は3コだった。

材料	
5/1 前月繰越 ()	()
()	()
()	()
	()
	()
	()

素材

--

補助材料

--

材料費の計算方法

問題

次の取引の仕訳および材料勘定への転記を行いなさい。

なお、消費単価の計算については、素材は先入先出法、補助材料は総平均法で計算し、消費数量の計算については、素材は継続記録法、補助材料は棚卸計算法で行うこと。

◎ 5月 1日	前月繰越 素材10kg @100円 補助材料2コ @20円	1. 5/5	(材 料)	4,000	(買掛金)	4,000
1. 5月 5日	素材50kg (@80円)を掛けて仕入れた。	2. 5/10	(材 料)	200	(買掛金)	200
2. 5月10日	補助材料8コ (@25円)を掛けて仕入れた。	3. 5/15	(仕掛品)	2,600	(材 料)	2,600
3. 5月15日	素材30kgを製造指図書No.1のために出庫した。	4. 5/20	(製造間接費)	800	(材 料)	800
4. 5月20日	素材10kgを間接材料費として出庫した。	5. 5/31	(製造間接費)	400	(材 料)	400
5. 5月31日	素材の帳簿棚卸数量は20kgで月末実地棚卸数量は15kgだった。この差は正常な範囲内のものである。	6. 5/31	(製造間接費)	168	(材 料)	168
6. 5月31日	補助材料の月末実地棚卸数量は3コだった。					

素材

月初 @100	10kg 1,000	直接材料費 30kg 2,600
当月仕入 @80	50kg 4,000	間接材料費 10kg 800
		棚卸減耗 5kg 400
		月末実地 15kg 1,200

補助材料

月初 @20	2コ 40	間接材料費 7コ 168
当月仕入 @25	8コ 200	月末実地 3コ 72

材料

5/1 前月繰越	()	()
	()	()
	()	()
		()
		()

《まとめ》

- 材料費は()で計算される
- 消費単価の計算方法には、()・()・()がある
- 消費数量の計算方法には、原則の()と簡便的な方法である()がある
- 継続記録法では、帳簿棚卸数量と実地棚卸数量との差によって()が把握できる
- 棚卸計算法では、消費数量を()で求めていく



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第5回の内容お疲れさまでした♪

